

第 3 回「札幌市総合交通計画策定委員会」

「交通施策等の体系化」編

平成 2 2 年 1 1 月 1 8 日(木)

札幌市 市民まちづくり局 総合交通計画部

~ 目 次 ~

1. 交通施策等の体系化（パッケージ化） .....	1
1-1 取り組むべき「力点」 .....	1
1-2 交通施策等の体系化 .....	3

# 1. 交通施策等の体系化（パッケージ化）

## 1-1 取り組むべき「力点」

交通施策等を展開するにあたり、札幌市の現状を踏まえ、5つの基本方針ごとに積極的に取り組むべき「力点」を以下に整理する。

### 暮らし

#### (1) 『地域特性』に応じた拠点のまちづくりを支える

多中心核都市構造を目指す札幌市においては、市内における各拠点の位置づけや特性に合わせ、市民にとって暮らしやすく移動しやすい生活交通環境の向上を目指すため、公共交通の維持や利用促進等を図ることによって、地域の魅力を引き出すとともに、各拠点のまちづくりを支援します。

拠点におけるまちづくりを支援します。  
拠点周辺の居住環境・交通環境の向上を図ります。  
市内各地や道内外との“ひと”や“もの”の流れを円滑にし、都心内の賑わい向上を図ります。  
市民の疾病時の救急搬送、災害時の応急活動の迅速化を支援します。  
公共交通の利用促進等により自動車利用の適正化を図ります。  
交通の円滑化により、渋滞による環境負荷の低減を図ります。

### 活力

#### (2) 道都さっぽろの顔となる『都心まちづくり』を支える

公共交通機関が充実している札幌都心部においては、市民の不必要な自動車利用を抑制し、人を中心とした安全・安心な都心交通環境を創出する一方で、北海道の業務活動の中心である札幌都心部への全道各地からの速達性向上を図り、活力ある都心まちづくりを積極的に支援します。

年間を通じて安全・快適な回遊ネットワークを形成し、創成川以東地区を含めた新しい都心のまちづくりを支援します。  
市内各地や道内外との“ひと”や“もの”の流れを円滑にし、都心内のにぎわい向上を図ります。（再掲）

#### (3) 『観光都市さっぽろ』の実現を支える

年間約 1300 万人の観光客が訪れる札幌市においては、外国人なども含む多様な来訪者へ対応しなければならない必要性が高まっており、観光客が札幌市を訪れる場面や市内を周遊

する場面においても、利便性の高い交通サービスを提供することによって、観光都市さっぽろの魅力をより一層高めることを目指します。

様々な来訪者、様々な交通手段による観光周遊を支援します。

道内外とのゲートウェイとなっている空港(新千歳、丘珠)、港湾(石狩、小樽、苫小牧)から市内各拠点(都心、高次都市機能拠点、観光資源等)までのアクセス性を向上し、各拠点の魅力向上を支援します。

#### (4) 圏域連携のための『広域交通』を強化する

高次な都市機能を有する道都札幌と、道内外とのゲートウェイとなる空港港湾施設とのアクセス性を高めることや、市内においても高次医療施設へのアクセス性を高めるなど、広域的な拠点間の連携強化を図ることによって、都市の活力向上を目指します。

道内外とのゲートウェイとなっている空港(新千歳、丘珠)、港湾(石狩、小樽、苫小牧)から市内各拠点(都心、高次都市機能拠点、観光資源等)までのアクセス性を向上し、各拠点の魅力向上を支援します。(再掲)

市民(圏域)の疾病時の救急搬送、災害時の応急活動の迅速化を支援します。(再掲)

## 環境

#### (5) 交通システムの充実により『環境首都・札幌』の実現を支える

環境首都を目指す札幌市においては、公共交通の維持や自動車利用の適正化を図るとともに、各交通モードの円滑性や連続性を向上させること等、交通面においても環境負荷の低減を図り、持続可能な低炭素型の都市交通システムの実現を目指します。

公共交通の利用促進等により自動車利用の適正化を図ります。(再掲)

交通の円滑化により、渋滞による環境負荷の低減を図ります。(再掲)

## 1 - 2 交通施策等の体系化

札幌市を取り巻く社会経済情勢の変化や交通課題等の解決するための交通施策等を整理するとともに、緊急性や重要度等を考慮しながら、短・中期における交通施策等(概ね10年間)を抽出し、「力点」ごとに体系化(パッケージ化)を行う。

力点1 拠点におけるまちづくりを支援します。

### 拠点育成パッケージ

#### <実施目標>

既存市街地内の道路を適切に整備・維持するとともに、歩道のバリアフリー化や自転車利用環境の整備を進め、年間を通じて安全、安心な生活空間を形成します。

#### 交通施策・事業

- ・ 「新・札幌市バリアフリー基本構想」に基づく歩道バリアフリー化
- ・ 拠点等の幹線道路における無電柱化
- ・ 公共施設や未利用地等の駐輪場への活用
- ・ 事業者による駐輪場の設置
- ・ 自転車駐車場附置義務条例の見直し
- ・ 自転車走行空間・駐輪空間の確保
- ・ 自転車利用環境の整備にあわせたルール周知や運用
- ・ 「札幌市冬のみちづくりプラン」に基づく重点的・効率的な除排雪の実施

#### <実施目標>

駅周辺のまちづくり計画に応じた、駅前広場・アクセス道路等の整備により、交通結節点機能を強化します。

#### 交通施策・事業

- ・ ICカードの利便性向上の検討
- ・ 地下鉄東豊線栄町駅周辺地区交通広場の検討・整備
- ・ JR白石駅橋上化・自由通路・駅前広場整備(事業中)
- ・ JR苗穂駅橋上化・自由通路・駅前広場整備・アクセス道路整備
- ・ JR篠路駅東口駅前広場整備、アクセス道路整備

力点2 拠点周辺の居住環境・交通環境の向上を図ります。

居住環境改善パッケージ

<実施目標>

交通結節点の機能向上（乗り継ぎ円滑化、情報提供の充実等）を図るとともに、まちづくりの面では都市機能の集積を図ることにより、駅接続型の路線バスを維持し、自動車が無くても移動に支障のない地域交通環境を創造します。

交通施策・事業

- ・ 路線バス網の維持
- ・ 乗継機能の向上
- ・ 「新・札幌市バリアフリー基本構想」に基づく歩道バリアフリー化（再掲）
- ・ 拠点等の幹線道路における無電柱化（再掲）
- ・ 自転車走行空間の確保（再掲）
- ・ 自転車利用環境の整備にあわせたルール周知や運用（再掲）
- ・ 長期未着手の都市計画道路の見直し
- ・ アセットマネジメントの推進

### 力点3

年間を通じて安全・快適な回遊ネットワークを形成し、創成川以東地区を含めた新しい都心のまちづくりを支援します。

### 都心まちづくり支援パッケージ

#### <実施目標>

都心内の回遊性を高めるため、公共交通システムの拡充を検討します。

#### 交通施策・事業

- ・ 路面電車の延伸等によるまちづくりへの活用
- ・ 路面電車の低床車両導入等によるバリアフリー化の推進と利便性向上
- ・ 路面電車によるトランジットモールやサイドリザベーションの検討

#### <実施目標>

再開発等のまちづくりと連携し、年間を通じて快適に回遊することが可能な地下歩行空間のネットワーク化とその活用、駐輪場の整備を進めます。

#### 交通施策・事業

- ・ 南1条通における地下歩行空間の創出や地上部の再整備の検討
- ・ 創世1.1.1区等の再開発と併せた西2丁目地下歩行空間供用の検討
- ・ 公共施設や未利用地等の駐輪場への活用（再掲）
- ・ 事業者による駐輪場の設置（再掲）
- ・ 自転車放置禁止区域の拡大
- ・ 自転車駐車場附置義務条例の見直し（再掲）
- ・ 自転車走行空間の確保（再掲）
- ・ 自転車利用環境の整備にあわせたルール周知や運用（再掲）
- ・ 隔地駐車場の活用
- ・ 駐車場附置義務の原単位の適正化

#### <実施目標>

歩行空間のバリアフリー化を進めるとともに、路面電車の延伸等に伴う道路空間再構築により自転車利用環境（走行空間）の整備、広場空間の創出、路上駐車対策などを進めます。

#### 交通施策・事業

- ・ 「新・札幌市バリアフリー基本構想」に基づく歩道バリアフリー化（再掲）
- ・ 拠点等の幹線道路における無電柱化（再掲）
- ・ 自転車走行空間の確保（再掲）

#### 力点4

市内各地や道内外との“ひと”や“もの”の流れを円滑にし、都心内の賑わい向上を支援します。

#### 都心アクセスパッケージ

##### <実施目標>

都心と高速道路とのアクセス性向上を図るとともに、連携道路等の整備をすすめ、都心中心部の渋滞緩和を図ります。

##### 交通施策・事業

- ・ 創成川通の機能強化（都心 札幌北 IC 間）
- ・ 豊平川通の南北延伸

##### <実施目標>

JR、地下鉄、バス（市内路線、都市間、観光貸切）、タクシーの他、新幹線の整備を考慮した、札幌駅周辺地区の交通結節点機能の強化を図ります。

##### 交通施策・事業

- ・ ICカードの利便性向上の検討（再掲）
- ・ 乗継機能の向上（再掲）
- ・ 路線バス網の維持（再掲）
- ・ 札幌駅交流拠点再整備構想の検討
- ・ 北海道新幹線の早期実現化のための多面的な建設促進活動の展開
- ・ 隔地駐車場の活用（再掲）

##### <実施目標>

コンパクトシティ実現のための多中心核都市構造を形成する交通軸となる、都心と各拠点間の幹線道路、公共交通機関を強化します。

##### 交通施策・事業

- ・ 創成川通の機能強化（都心 札幌北 IC 間）（再掲）
- ・ 豊平川通の南北延伸（再掲）
- ・ 路線バス網の維持（再掲）
- ・ アセットマネジメントの推進（再掲）

力点5

様々な来訪者、様々な交通手段による観光周遊を支援します。

観光促進パッケージ

<実施目標>

様々な来訪者、様々な交通手段による観光周遊を支援するため、歩道等のバリアフリー化の推進により利便性向上を図ります。

交通施策・事業

- ・ 「新・札幌市バリアフリー基本構想」に基づく歩道バリアフリー化（再掲）
- ・ 路面電車の低床車両導入等によるバリアフリー化の推進と利便性向上（再掲）

<実施目標>

違法駐輪の排除、無電柱化等により道路景観の向上を図ります。

交通施策・事業

- ・ 拠点等の幹線道路における無電柱化（再掲）
- ・ 自転車走行空間・駐輪空間の確保（再掲）
- ・ 隔地駐車場の活用（再掲）
- ・ 駐車場附置義務の原単位の適正化（再掲）

<実施目標>

都心内の回遊性を高めるため、公共交通システムの拡充を検討します。

交通施策・事業

- ・ ICカードの利便性向上の検討（再掲）
- ・ 路面電車の低床車両導入等によるバリアフリー化の推進と利便性向上（再掲）
- ・ 路面電車によるトランジットモールやサイドリザベーションの検討（再掲）
- ・ 自転車走行空間・駐輪空間の確保（再掲）
- ・ 自転車利用環境の整備にあわせたルール周知や運用（再掲）

力点 6

道内外とのゲートウェイとなっている空港（新千歳、丘珠）、港湾（石狩、小樽、苫小牧）から市内各拠点（都心、高次都市機能拠点、観光資源等）までのアクセス性を向上し、各拠点の魅力向上を支援します。

広域連携パッケージ

<実施目標>

新千歳空港及び各港湾と、都心とのアクセス性の向上を図るとともに、連携道路等の整備をすすめ、都心中心部の渋滞緩和を図ります。

交通施策・事業

- ・ 創成川通の機能強化（都心 札幌北 IC 間）（再掲）
- ・ 豊平川通の南北延伸（再掲）
- ・ 札幌圏連携道路の整備（屯田茨戸通、札幌江別大橋）
- ・ 外環状道路（南回り）の機能強化（既存道路の機能強化）

<実施目標>

市内郊外の高次都市機能（定山溪、芸術の森など）をはじめとする観光資源までのアクセス性向上を図り、札幌市内の回遊性を高めるため、拠点間の幹線道路、公共交通機関を強化します。

交通施策・事業

- ・ IC カードの利便性向上の検討（再掲）
- ・ 路線バス網の維持（再掲）
- ・ 乗継機能の向上（再掲）
- ・ 北海道新幹線の早期実現化のための多面的な建設促進活動の展開（再掲）
- ・ 豊平川通の南北延伸（再掲）
- ・ 外環状道路（南回り）の機能強化（既存道路の機能強化）（再掲）
- ・ バス路線などの幹線道路整備
- ・ 交差点改良等による渋滞対策

<実施目標>

都市内空港の役割を十分に発揮し、企業活動や観光ニーズに対応するため、丘珠空港路線の利用促進を図ります。

➤ 交通施策・事業

- ・ 丘珠空港の道内空港網の拠点空港としての機能向上と利用促進

## &lt;実施目標&gt;

高次医療施設への救急搬送の迅速化、消防、警察、ライフライン維持に係わる緊急車両の円滑化を図るため、都心とのアクセス道路をはじめとする幹線道路の整備を進めるとともに、緊急車両優先システム等の拡充を進めます。

## 交通施策・事業

- ・ 創成川通の機能強化（都心 札幌北 IC 間）（再掲）
- ・ 豊平川通の南北延伸（再掲）
- ・ 札幌圏連携道路の整備（屯田茨戸通、札幌江別大橋）（再掲）
- ・ 外環状道路（南回り）の機能強化（既存道路の機能強化）（再掲）

< 実施目標 >

業務機能、商業機能が集中する都心と市内各拠点（広域交流拠点、地域中心核）を有機的に連結する公共交通システムの拡充を行い、公共交通の利用促進を図ります。

交通施策・事業

- ・ J R 白石駅橋上化・自由通路・駅前広場整備（事業中）（再掲）
- ・ J R 苗穂駅橋上化・自由通路・駅前広場整備・アクセス道路整備（再掲）
- ・ J R 篠路駅東口駅前広場整備、アクセス道路整備（再掲）
- ・ 路線バス網の維持（再掲）
- ・ 乗継機能の向上（再掲）
- ・ 路面電車の低床車両導入等によるバリアフリー化の推進と利便性向上（再掲）
- ・ 路面電車によるトランジットモールやサイドリザベーションの検討（再掲）
- ・ 自転車走行空間・駐輪空間の確保（再掲）
- ・ 自転車利用環境の整備にあわせたルール周知や運用（再掲）
- ・ バス路線などの幹線道路整備（再掲）

< 実施目標 >

都心と高速道路とのアクセス性向上を図るとともに、連携道路等の整備をすすめ、都心中心部の渋滞緩和を図ります。（再掲）

交通施策・事業

- ・ 創成川通の機能強化（都心 札幌北 IC 間）（再掲）
- ・ 豊平川通の南北延伸（再掲）

力点9 交通の円滑化により、渋滞による環境負荷の低減を図ります。

## 交通円滑化パッケージ

<実施目標>

主要渋滞ポイントの円滑な交通を確保することにより、CO2 排出量の削減を目指します。

交通施策・事業

- ・ 創成川通の機能強化（都心 札幌北 IC 間）（再掲）
- ・ 豊平川通の南北延伸（再掲）
- ・ 交差点改良等による渋滞対策（再掲）
- ・ バス路線などの幹線道路整備（再掲）

<実施目標>

冬期道路の円滑性を確保するため、拠点間連携を担う道路や主要なバス路線を中心に、計画的、重点的な除排雪の実施をすすめます。

交通施策・事業

- ・ 「札幌市冬のみちづくりプラン」に基づく重点的・効率的な除排雪の実施（再掲）

交通施策等の体系化一覧表(公共交通ネットワーク系)

カ点	公共交通根ネットワーク系					
	各交通モード (上段: 基本的な考え方 下段: 交通施策等)					
カ点	地下鉄	J R	バス	路面電車	新幹線	飛行機(丘珠)
拠点におけるまちづくりを支援します。	・市内各地との円滑で安定した公共交通サービスの実現 ・一定の需要があり地下鉄の延伸の可能性がある方面への延伸検討	まちづくりと連動した駅の交通機能の充実				
	・ICカードの利便性向上の検討 ・地下鉄東豊線栄町駅周辺地区交通広場の検討・整備	・JR白石駅橋上化・自由通路・駅前広場整備(事業中) ・JR苗穂駅橋上化・自由通路・駅前広場整備・アクセス道路整備 ・JR篠路駅東口駅前広場整備、アクセス道路整備				
・拠点周辺の居住環境・交通環境の向上を図ります。			駅を中心とした歩いてくらせるまちづくりを進める。			
			・路線バス網の維持 ・乗継機能の向上			
・年間を通じて安全・快適な回遊ネットワークを形成し、創成川以東地区を含めた新しい都心のまちづくりを支援します。				都市の装置として、都心の魅力と周遊機能の向上		
				・路面電車の延伸等によるまちづくりへの活用 ・低床車両の導入等によるバリアフリー化の推進と利便性向上 ・トランジットモールやサイドリザーベーションの検討		
市内各地や道内外との“ひと”や“もの”の流れを円滑にし、都心内の賑わい向上を支援します。	市内各地との円滑で安定した公共交通サービスの実現		・地下鉄・JRと連携・補完し、きめ細かな市内公共交通サービスの実現 ・都心の玄関口として、JR札幌駅の魅力と交通機能の向上		都心と道内外を結ぶ高速鉄道として北海道新幹線札幌延伸の早期実現化	市内各地と都心をつなぐ快適な航空サービスの実現
	・ICカードの利便性向上の検討 ・乗継機能の向上		・路線バス網の維持 ・乗継機能の向上 ・札幌駅交流拠点再整備構想の検討		・多面的な建設促進活動の展開	・丘珠空港の道内空港網の拠点空港としての機能向上と利用促進
様々な来訪者、様々な交通手段による観光周遊を支援します。	誰もが利用しやすい環境の整備			誰もが利用しやすい環境の整備		
	・ICカードの利便性向上の検討			・低床車両の導入等によるバリアフリー化の推進と利便性向上 ・トランジットモールやサイドリザーベーションの検討		
道内外とのゲートウェイとなっている空港(新千歳、丘珠)、港湾(石狩、小樽、苫小牧)から市内各拠点(都心、高次都市機能拠点、観光資源等)までのアクセス性を向上し、各拠点の魅力向上を支援します。			地下鉄・JRと連携・補完し、市内各地へのきめ細かな公共交通サービスの実現		都心と道内外を結ぶ高速鉄道として北海道新幹線札幌延伸の早期実現化	市内各地と都心をつなぐ快適な航空サービスの実現
			・路線バス網の維持 ・乗継機能の向上		・多面的な建設促進活動の展開	・丘珠空港の道内空港網の拠点空港としての機能向上と利用促進

- 都市交通施策パッケージ
- 拠点育成パッケージ
- 居住環境改善パッケージ
- 都心まちづくり支援パッケージ
- 都心アクセス向上パッケージ
- 観光促進パッケージ
- 広域連携パッケージ

カ点	公共交通根ネットワーク系					
	各交通モード（上段：基本的な考え方 下段：交通施策等）					
	地下鉄	J R	バス	路面電車	新幹線	飛行機（丘珠）
市民の疾病時の救急搬送、災害時の応急活動の迅速化を支援します。						
公共交通の利用促進等により自動車利用の適正化を図ります。		エネルギー効率の高い公共交通の利用促進	エネルギー効率の高い公共交通の利用促進	エネルギー効率の高い公共交通の利用促進		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・J R白石駅橋上化・自由通路・駅前広場整備（事業中）</li> <li>・J R苗穂駅橋上化・自由通路・駅前広場整備・アクセス道路整備</li> <li>・J R篠路駅東口駅前広場整備、アクセス道路整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バス網の維持・乗継機能の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低床車両の導入等によるバリアフリー化の推進と利便性向上</li> <li>・トランジットモールやサイドリザーベーションの検討</li> </ul>		
交通の円滑化により、渋滞による環境負荷の低減を図ります。						

都市交通施策  
パッケージ

応急活動支援  
パッケージ

公共交通  
利用促進  
パッケージ

交通円滑化  
パッケージ

交通施策等の体系化一覧表(道路ネットワーク系)

	道路ネットワーク系			
	各交通モード (上段: 基本的な考え方 下段: 交通施策等)			
力点	徒歩	自転車	自動車(道路網)	自動車(駐車場)
拠点におけるまちづくりを支援します。	安全・快適な拠点の歩行環境の実現	駅を中心とした安全・快適な自転車利用環境の整備	人を重視した安全・快適な拠点内道路空間の実現	
	・「新・札幌市バリアフリー基本構想」に基づく歩道バリアフリー化 ・拠点等の幹線道路における無電柱化	・公共施設や未利用地等の駐輪場への活用 ・事業者による駐輪場の設置 ・自転車駐輪場附置義務条例の見直し ・自転車走行空間・駐輪空間の確保 ・自転車利用環境の整備にあわせたルール周知や運用	・「札幌市冬のみちづくりプラン」に基づく重点的・効率的な除排雪の実施 ・拠点等の幹線道路における無電柱化	
・拠点周辺の居住環境・交通環境の向上を図ります。	人を重視した安全・快適な拠点周辺の道路空間を実現する。	人を重視した安全・快適な拠点周辺の道路空間を実現する。	人を重視した安全・快適な拠点周辺の道路空間を実現する。	
	・「新・札幌市バリアフリー基本構想」に基づく歩道バリアフリー化 ・拠点等の幹線道路における無電柱化	・自転車走行空間の確保 ・自転車利用環境の整備にあわせたルール周知や運用	・長期未着手の都市計画道路の見直し ・アセットマネジメントの推進	
・年間を通じて安全・快適な回遊ネットワークを形成し、創成川以東地区を含めた新しい都心のまちづくりを支援します。	安全・快適な都心内歩行回遊ネットワークの強化	安全・快適な都心内での歩行者と自転車の回遊ネットワークを実現する。	人を中心とした安全・快適な都心内道路空間の実現	都心まちづくりの支援
	・南1条通における地下歩行空間の創出や地上部の再整備の検討 ・創世1.1.1区等の再開発と併せた西2丁目地下歩行空間供用の検討 ・「新・札幌市バリアフリー基本構想」に基づく歩道バリアフリー化 ・拠点等の幹線道路における無電柱化	・公共施設や未利用地等の駐輪場への活用 ・事業者による駐輪場の設置 ・自転車放置禁止区域の拡大 ・自転車駐輪場附置義務条例の見直し ・自転車走行空間・駐輪空間の確保 ・自転車利用環境の整備にあわせたルール周知や運用	・道路空間再構築(歩行者・自転車および公共交通を重視する空間に転換) ・拠点等の幹線道路における無電柱化	・隔地駐車場の活用 ・駐車場附置義務の原単位の適正化
市内各地や道内外との“ひと”や“もの”の流れを円滑にし、都心内の賑わい向上を支援します。		市内各地と安全かつ快適に移動できる自転車利用環境を実現する。	市内各地や道内外と、効率的かつ円滑に移動できる道路利用環境を実現する。	都心に発着する自動車を適切かつ円滑に収容する。
		・自転車走行空間の確保 ・自転車利用環境の整備にあわせたルール周知や運用	・創成川通の機能強化(都心 札幌北IC間) ・豊平川通の南北延伸 ・アセットマネジメントの推進	・隔地駐車場の活用 ・駐車場附置義務の原単位の適正化
様々な来訪者、様々な交通手段による観光周遊を支援します。	来訪者を含め、誰もが安全・快適に歩行を楽しめる環境の実現	来訪者を含め、誰もが安全・快適に歩行や自転車を楽しめる環境の整備	来訪者を含め、誰もが安全・快適な道路環境の整備	来訪者を含め、誰もが安全・快適な道路環境の整備
	・「新・札幌市バリアフリー基本構想」に基づく歩道バリアフリー化 ・拠点等の幹線道路における無電柱化	・自転車走行空間・駐輪空間の確保 ・自転車利用環境の整備にあわせたルール周知や運用	・道路空間再構築(歩行者・自転車および公共交通を重視する空間に転換) ・拠点等の幹線道路における無電柱化	・隔地駐車場の活用 ・駐車場附置義務の原単位の適正化

都市交通施策パッケージ

拠点育成パッケージ

居住環境改善パッケージ

都心まちづくり支援パッケージ

都心アクセス向上パッケージ

観光促進パッケージ

	道路ネットワーク系			
	各交通モード（上段：基本的な考え方 下段：交通施策等）			
力点	徒歩	自転車	自動車（道路網）	自動車（駐車場）
道内外とのゲートウェイとなっている空港（新千歳、丘珠）、港湾（石狩、小樽、苫小牧）から市内各拠点（都心、高次都市機能拠点、観光資源等）までのアクセス性を向上し、各拠点の魅力向上を支援します。			道外・世界と市内各拠点の道路アクセスの向上 ・創成川通の機能強化（都心 札幌北IC間） ・豊平川通の南北延伸 ・札幌圏連携道路の整備（屯田茨戸通、札幌江別大橋） ・外環状道路（南回り）の機能強化（既存道路の機能強化） ・豊平川通の南北延伸 ・バス路線などの幹線道路整備 ・交差点改良等による渋滞対策	
市民の疾病時の救急搬送、災害時の応急活動の迅速化を支援します。			救急搬送、災害時など応急活動の迅速化を支える道路環境を実現する。 ・創成川通の機能強化（都心 札幌北IC間） ・豊平川通の南北延伸 ・札幌圏連携道路の整備（屯田茨戸通、札幌江別大橋） ・外環状道路（南回り）の機能強化（既存道路の機能強化）	
公共交通の利用促進等により自動車利用の適正化を図ります。		自動車から自転車への利用転換を図る。 ・自転車走行空間・駐輪空間の確保 ・自転車利用環境の整備にあわせたルール周知や運用	必要な自動車交通機能を維持しつつ、必要な道路ネットワークの整備 ・長期未着手の都市計画道路の見直し ・バス路線などの幹線道路整備	必要な駐車機能を維持した地区特性に応じた駐車場整備 ・隔地駐車場の活用 ・駐車場附置義務の原単位の適正化
交通の円滑化により、渋滞による環境負荷の低減を図ります。			自動車交通を円滑化し、渋滞による環境負荷の低減 ・創成川通の機能強化（都心 札幌北IC間） ・豊平川通の南北延伸 ・「札幌市冬のみちづくりプラン」に基づく重点的・効率的な除排雪の実施 ・交差点改良等による渋滞対策	路上駐車を削減し、渋滞による環境負荷の低減 ・隔地駐車場の活用 ・駐車場附置義務の原単位の適正化

都市交通施策  
パッケージ

広域連携  
パッケージ

応急活動支援  
パッケージ

公共交通  
利用促進  
パッケージ

交通円滑化  
パッケージ